

3月予算議会

岡田重美議員が代表質問

開会中の3月定例議会は2月24日に4会派による代表質問が行われました。日本共産党甲賀市議員団は、岡田重美議員が代表質問に立ち、①市民のいのちと暮らし・人権を守る立場から国政の課題について ②岩永市政の課題について ③市長の施政方針と新年度予算案について 市民の切実な願い実現と市政の問題点を質しました。



■市民のいのちと暮らし・人権を守る立場から国政の課題について

岡田議員は、トランプ政権によるベネズエラ侵略、非核三原則の見直し、9条改憲、高市首相の台湾有事発言など平和の問題、生活保護費引き下げ、OTC類似薬保険外しなど社会保障削減、消費税減税、多文化共生社会の実現、選択的夫婦別姓など国政の主な課題について市長の政治姿勢を問いました。

市長は、非核三原則の見直しについて、「市の非核平和都市宣言でも非核三原則堅持を謳っていることから、核兵器廃絶を強く訴えていく」、

「憲法9条が果たしてきた役割は非常に大きい」と。一方で国際情勢が不安定ななか、安全保障のあり方は「国会で議論されるべき」との答弁でした。消費税減税については、財源の確保が必要になる、減税が実施されれば、地方の歳入が減収とならないよう国に対応を求めていくとの答弁でした。

■岩永市政の課題について

岩永市政として3期目。9年4ヶ月が経過しましたが、現在市が抱える課題の中から、第2次小中学校再編計画、地域公共交通の充実、南土地先産廃処分場建設計画、地域情報基盤の民間移行、自治振興会の5点について課題や問題点を指摘しました。

第2次小中学校再編計画について、再編の理由として児童生徒数の減少等があげられていますが、真の狙いは「公共施設の合理化ではないのか」との問いに、市長は「市が目指す学校教育の実現であり、合理化を第一の目的としたものではない」と応えました。地域公共交通の充実については、「来年度、甲賀市地域公

交通計画の見直しを行う、利用者の意見や経費の分析など行い、必要な見直しや新しい対策を検討する」と。産廃処分場建設計画については、「予定されている準備書の段階においても、徹底した審議と審査が行われるよう強く求めていく」との答弁でした。山岡議員が関連質問を行い、自治振興会について自治振興会交付金の使途や積算等について質しました。

■市長の施政方針と新年度予算案について

新年度予算案については、貴生川駅周辺整備事業に約5億円、虫生野東部土地区画整備事業に約1億5千万円をはじめ、大型事業を中心とした予算となっていることから、「物価高騰で

苦しむ市民に寄り添った予算とはなっていない」と指摘、市独自の支援策等を求めました。4月から実施される小中学校の給食費無償化については、国の施策ではありませんが市民の長年の願いの実現であり評価しつつ、中学校についても、市独自で給食費無償化を実施すべきと求めました。

■山岡光広議員一般質問

3月2日4番目

- 1、市職員の時間外労働をなくす働き方改革について
- 2、下朝宮のゴミ問題その後
- 3、国民健康保険税の引き上げについて
- 4、甲南の忍術屋敷駐車場にある観光トイレの改修を

■西山 実議員一般質問

3月4日3番目

- 1、地域公共交通の充実を、特に水口地域のコミバスをもっと便利にする
- 2、本水口バス停横の休憩所とトイレの改修を
- 3、上下水道料金について
- 4、朝夕の交通渋滞の解消へ、右折信号の設置を

■年金者組合甲賀支部より請願提出される

「物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願」(支部長 藤橋雅嗣氏)
*3月5日の厚生文教常任委員会で審査が行われます。

■議案提案権いかして意見書案提出

- 山岡光広議員 ◆非核三原則の堅持を求める意見書
- 岡田重美議員 ◆消費税減税の早期実施を求める意見書
- 西山 実議員 ◆選択的夫婦別姓制度の速やかな導入を求める意見書

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 3月 1日 第572号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044